

## 総合計画審議会 生きがい・安心部会第1回会議録(抜粋)

2006.06.28 AM10:00～12:00 米原庁舎2A 会議室

出席者：大澤部会長、斎藤副部会長、藤居正、藤居貞、堀江、岡田、松居

事務局：石田、津田、服部、山脇、松村

PTチーム：丸本光(教育総務課)、瀧上(こども課)、堤基(健康づくり課)、  
松崎(高齢福祉課)、藪田(生涯学習課)

1. 自己紹介
2. 総合計画策定方針および新市まちづくり計画の概要について  
総合計画策定方針説明・・・服部 新市まちづくり計画説明・・・山脇
3. 今後の部会進行について  
説明・・・アルパック、津田、服部
4. フリートーク

自治基本条例に基づいた協働による総合計画、基本構想を策定するべきであるが、現状から見るとなかなか難しいだろう。

PDCAのP(プランニング)をするには、KJ法を取り入れていくべきであるが、市民にどれだけこのような方法が浸透しているのか、またこの部会が市民にどれだけ溶け込んでいるかが課題である。

この部会は、市民主体、市民の希望で成り立つものであり、市民の中に入っていかななくてはならないと思う。

旧4町の総合計画は反映されているのか。

全部は反映されていないが、旧4町の魅力ある部分、ポイントは入っているが個別事業名では入っていない。

中学生アンケートでは、公民館、図書館等が相互に利用できることに大きな期待があるが、米原市は特に民への移行(指定管理者制度)が早いと思う。もっと使いやすくしていくことが重要だと思うが、財政事情からも厳しいと思われる。委託料の増額など考えられるがどうしていくのか。

もっと市民に使いやすい施設に。

自治基本条例の理念である「協働」をどうやって進めていくのか。まだ市民側の協働意識が薄い中、もっと市民が参加できるような施策が必要である。そうしないと旧態依然の行政のやり方(こなせばよい)になってしまう。

待つよりも出かけていく姿勢が大事である。(部会としても出かけていけばよい。)

まだ旧町意識があり、米原市全体に目を向けることに慣れていない。

計画等に上がっている『地域』は、どれを指しているのか。市全体、自治会、字、むら・・・どれになるのか。

自分が住んでいる地域(むら)では、地域のつながり、活動がわりと盛んである。(安全パトロール、こどもとの触れ合い等)

それぞれの地域が、それぞれの活動で活発になれば、なお良い。

この部会として総合計画に関わっていく範囲はどれぐらいなのか。

部会の範囲に基づいた基本構想を立案していくのではないか。

基本計画の目標まで関わっていくのか。

基本構想だけではイメージがつかみにくいので、計画まで踏み込んでもらったほうが良いと思う。

懇談会は誰が参加するのか。

プロジェクトチームで参加するが、部会も参加していただけるのであれば参加していただきたい。

自治基本条例は理念であり、総合計画をつくる過程においてこの条例に基づいた理念、協働により取り入れていくもので、総合計画の中に、条例の文言等をいれるものではない。

旧4町の基本計画を次回部会に用意する。(生きがい・安心部会に関連するもの)

次回の案内通知に、議論するテーマを事前にお知らせしておく。